

「学校配置の見直しについて」説明会 質疑応答要旨（林寺小学校）

実施日時：平成 26 年 6 月 14 日（土）18：30～20：10

参加者数：72 人

出席者：（生野区役所）清野区長、北邑教育振興担当課長
（教育委員会事務局）川口学校適正配置担当課長
（学校）村田林寺小学校長、北野生野中学校長

統廃合の必要性やめざす方向性に関する質問・意見

- 1 統廃合が子ども達の通学の安全にとって良いのか疑問である。小規模校であれば目の行き届いた教育ができるし、学年間のつながりが強く、連携できるメリットがある。

学校は地域活動・防災の拠点である。単身高齢者が多いので、災害時の避難拠点として学校が必要である。

若い世代がもっと来てもらえる施策に取り組んでほしい。

（区長）

子どもや若い世代が減っていくというのは、地域活動をするにあたっても良い状況ではなくなっていくと思います。

小規模校の学校施設の整備も後回しになっています。

児童数が少ないと教員の数も少なくなりますが、たくさん教員がいる学校と同じ量の事務をこなさなければならないので、指導研究や子ども達と触れあうために割ける時間が限られてしまうことも課題です。

大阪市外から転入してきた保護者から、近くにたくさん小学校があつてびっくりしたというご意見もいただいたことがありましたので、通学距離に関しては統廃合をしても他地域と比べて遠くはないのではないかと考えています。小学校の児童数を見て引っ越す地域を決めるというご意見もありました。

子どものことを大切に考えている方ばかりだと思いますので、皆さんで新しい学校を作っていただくという思いで臨んでいただきたいと思います。1 学年 2 学級程度の規模の学校にして、先生の負担を減らし、子ども達に十分目が行き届くような教育環境をめざしていきたいと思います。

住宅が建て替わりにくい地域では、まちの活性化について地域の皆さんとご相談しながら取組を進めていかなければなりません。また、学校がなくなった場合でも、避難場所等の確保については十分考慮しなければなりませんし、保護者をはじめ地域住民のみなさんと時間をかけて丁寧に話し合っ

- 2 小規模校のデメリットを感じている保護者は少ない。地域の子
- 子ども達が減っていく状況を改善しないまま統合を進めても、子育て世代がどんどん出ていって過疎化する。小中学校の状況を良くして子育てしやすい地域にしてから統廃合を考えてほしい。

（区長）

本市の学校適正配置施策は小学校だけが対象で中学校については何も議論されていませんが、中学校進学時に私学に行ったり引っ越ししたりされるということを考えると、小中学校の教育環境をあわせて議論しないと望ましい結論は出てこないと考えています。

学校選択制を実施する区では学校案内に全国学力テストの結果が掲載されて、保護者が見る事ができるようになります。今学校の適正規模を考えていかないと、教員の数も少なくなってしまう等の課題が中学校でも起きているので、どういう学校があれば一番良いかを一緒に考えていってほしいと思います。

- 3 保護者も教員に協力的だし子ども達も仲が良い。統廃合を前提に話を進めているように感じるが、統合すると今の学校のメリットはなくなるので、林寺小学校が残る形で話が進めばよい。

- 4 Aブロックで小学校を2校、Bブロックで小学校を3～4校に減らすのか。

(区長)

本市の状況を見ると学校を今のままの数で残すのは難しいですが、数はあくまで目安であり今の段階で何校まで減らすかということは決めていません。

- 5 児童数だけで統廃合を考えると、学校の大切な機能が失われるのではないか。

(川口課長)

数合わせだけでなく、子どもの教育環境としてどうかという視点から何が一番良いのかを皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

- 6 林寺小学校の状況を見て、本当に小規模校は悪いのか考えてほしい。

(区長)

全部の学校を見て回っていますし、どのPTAの方も頑張っておられます。教育委員会事務局の職員も生野区のことを考える際には来てもらっています。

- 7 防災拠点としての学校の機能をしっかり考えてほしい。

- 8 あくまで児童数が少ないから統廃合するのか。

(区長)

教育委員会が市全体としての方針を決めた以上、生野区での学校統廃合は私がこなさなければならぬ仕事です。

また、子ども達の将来を考えた時に、今のままの学校配置で適切な教育環境を提供していけるかは私も疑問に感じているので、統廃合のお話をせざるを得ないのは事実です。

(川口課長)

教育委員会事務局としては、地域の方の協力を得ながら学校配置の適正化に取り組むように、という指針に沿って進めていきます。

統廃合の進め方に関する質問・意見

- 9 ブロックごとの意見交換会で話をしていく段階で、区役所からプランを出してもらいたい。

(区長)

ブロック意見交換会では、まず今の4つのブロック割で取組を進めてもいいかについて皆さんにご議論いただきたいと思います。その後、皆様の意見を受けて出来る限り早く案を出して、それをもとに一定の時間を取って議論してもらおうという進め方をしたいと思います。その際は地域同士のぶつかり合いにならないように努力したいと思います。

- 10 今回の説明だと話は聞くが最終的に統合するという結論ありきに聞こえる。ブロックで話し合っ
て、ひとつの地域だけが反対で他が賛成している場合も話は進めるつもりなのか。

(区長)

結論ありきで話を進めるつもりは一切ありませんが、方向性については3月に出した生野区小・中学校教育環境再編方針「学校配置の見直しについて」に基づいて進めていきます。統合してから6年経ってやっと一つの校風が生まれると言われるほど、異なる歴史・文化を持った学校同士の統廃合には非常に長い時間が必要です。そのため、なるべく早くに具体案を提示させていただき、その上で子どもや地域が新しい環境に円滑に移行していただけるよう統合の準備のために時間を十分に確保したいと考えています。

- 11 人数から少ないからクーラーの設置が後回しになっても、学校がなくなるよりは良い。

また、学校を減らせばこの地域はさらに過疎化が進むことになる。

(区長)

まちづくりに関しては、今里筋の交通や生野南部地区の開発や、面開発が難しい地域は今ある建物に子育て層が入っていただける方法がないか等、地域まちづくり協議会に出向いて話を始めています。

区全体のよりよい教育環境を整えるために、ブロック単位で皆さん一緒に学校のあり方を考えていきたいというのが今回の取組の趣旨です。

(川口課長)

小規模校にも良いところがあるという意見は承知していますが、それを考慮してもなお小規模校には教育環境の面でさまざまな課題があるというのが学校適正配置審議会の答申内容であり、教育委員会としては、その答申に沿った取組をしなければなりません。

- 12 平成22年答申を元にこの話を進めているというが、この地域がどういう地域であるかを認識せずにこの学校をなくそうとしているのか。審議会はいくまで数字でしか地域を見ていないのではないか。児童の数合わせだけの統廃合はやめてほしい。

(川口課長)

地域性が重要であるというご意見は受け止めさせていただきます。

- 13 ブロック意見交換会で林寺小学校を残すという意見が出た時に区長はどう対応するつもりか。

(区長)

林寺小学校だけ別扱いしたり、林寺小学校だけなくしたりすることはできません。議論と一緒に入ってほしいというのが今お願いしていることです。

14 子ども達には統廃合することをいつ伝えるのか。

(川口課長)

統廃合にあたって、子ども達に精神的な負担を全くかけないということは難しいですが、統合のかなり前から時間をかけて、学校間で連携してさまざまな交流活動を行うことで、少しでも子ども達の精神面での負担を減らしていきたいと考えています。

15 平成 30 年から新しい学校配置にするのは無理ではないか。いろんな人の意見を十分くんでやってほしい。

(区長)

平成 30 年というのはあくまで最短のモデルスケジュールです。

統廃合後のあり方に関する質問・意見

なし

その他の質問・意見

16 4年前の学校適正配置についての説明会では、林寺小学校は生野区で一番児童数が少ないから統合するという説明だったが、4年前の説明会と今回の説明会はどうつながっているのか。

(区長)

教育委員会の学校適正配置に対する考え方自体は4年前から変わっていませんが、どの学校も小規模校という現状では、規模の小さい学校から統合していくという方法ではなかなか良い答えが得られないだろうということで、生野区の場合は120人以下の学校からなんとかしていくのではなく、住民の皆さんにもどうすれば一番良い解決策が得られるのかを一緒に考えていただきたいという趣旨で各学校で説明会を開催し、その上でブロックごとに代表の方同士議論いただきたいというのが今回までの経過です。また、今回の取組は、決して4年前からの議論を無視したものではありません。

17 この説明会は林寺小学校が廃校になる前提の説明会か。

(区長)

既存の学校に統合するという方法もありますし、区内の公有地の活用も含めて検討したいと思えます。どこの学校をなくすかということについては現時点では全くの白紙です。

18 本当に子どもの視点に立っているのか、行政コストの視点なのかをはっきりしてほしい。

19 教育委員がこの場に来て地域の声を聞くべきである。行政の都合と児童数だけで進めていっている印象を持っている。

20 学校適正配置の責任者は誰か。

(区長)

生野区内の適正配置については区長が中心になって実施することとされています。

21 区将来ビジョンに「人口減少、少子高齢化、空家率の上昇、製造業企業数の減少など、まちの活力が失われていくことに懸念があります。」と書いてあり、「区内外の方々にとって住みたい、住んでよかった魅力あるまちとおもって感じていただける取り組みが必要です。」とある。

ここに住みたいと思ってもらえるような教育環境にするためには、教育力を向上させることを頑張りたい。

(区長)

別にご意見をいただく機会がありますので、またご議論いただきたいと思います。

22 この地域の教育環境が、人数は少なくても良い学校の見本として発信していただきたい。

(区長)

林寺小学校がどういう取組をしているのかの発信については、またご相談しつつ検討していきたいと思います。